



第 19 号

平成22年(2010年)5月25日(火)発行
発行元:みやげじま『風の家』
発行責任者:坂上 幸一郎
東京都三宅島三宅村阿古532-1
(社団法人 日本建築学会三宅島研修所貸付)
電話:04994-5-1470 FAX:04994-5-1471
E-mail: miyake_kaze@dolphin.ocn.ne.jp

みやげじま『風の家』でくりかえされる日常の中、人と人との間に灯される「やさしさ」を切り取っています。
多くの人が“やさしく なかよく”つながっていることの大切さ。
ただそれだけを見つめて…

(^J) 季節のうつりかわり

五月晴れの気持の良い日が少しずつ増えて、一年の内でも気持ちの良い季節になりました。

明日葉は、放っておくと子どもの背丈ほどグングンと伸びています。

様々な花も咲き始め、綺麗な姿を見せてくれます。

海からも「アカイカ」や「カツオ」などもお目見えして、島の活力がだんだん満ちていくように感じられる季節です。



どれも、とっても美味しそうです (^o^)



みやげじま『風の家』も、新しい運営となって早3ヶ月が経ちました。

毎週火曜日と金曜日の開設に合わせて、多くの方々にご利用いただいています。

引続き、多くの方々との良い出逢いの場となるよう希望しながら、活動を続けています。

どうぞ、お気軽にお立ち寄りください!

(^o^ 『島の豊かさ』を観ましたよ

おだやかなお天気に誘われて、『いきいきお魚センター』に出かけました。

その日に漁れたたくさんの魚がずらっと並び、イケスには「サザエやシッタカ、イセエビ」などなど島の豊かさを観たひと時でした。

そしてその豊かさは、様々な人の手によって支えられて、こうして私たちの手に届くのだなあと感じました。

次々に足を運ぶお客さんに、明るく笑顔で対応して働く姿からも元気をいただいたような気がします。

それらすべてが『島の豊かさ』ですね!(^)!)

笑顔でお互いの気持ちのいい『ありがとう!』が交わされました。





みやげじま『風の家』 聴きみみ

先日、『島市』や東京竹芝桟橋広場での『島じまん2010』が開催されました。これから来る夏から秋にかけては、「天王祭」や「サイクルロードレース大会」、「帰島5周年行事」や「モーターサイクルフェスティバル」等々の行事が続き、島に活気と賑やかさを届ける兆しを感じられます。

『島市』に足を運んだ方からは「とっても賑やかで良かった。あんまり人が多くてびっくりしたよ!」「行列にならんでお目当てのものが買えたよ」とワクワクした感想が聞かれました。

「“市”っていう文化って島にはあったのかねえ?」との会話も始まり、生産に携わる人と地域の人が交流できる良い場になるよねと会話が弾みました。



その一方で、東京の企業の方々による「植林活動」も引き続き展開されていたりと、多くの方々が引き続き三宅島に思いを寄せてくれています。

日々の暮らしの中では、直接には参加したり関わりを持ってないところで、実は様々な取組がなされているんだなあ実感したひと時でした。

たくさんの良い取り組みがなされている島で、それらの良い出来事が具体的に伝わるだけでも、やさしい気持ちと元気をもらうことができます。

!(^)! みんなで気をつけましょう

春らしい陽気の中ですが、着実に季節は変わっていきます。

これからの季節の心配事として、そろそろ食中毒への心配も少しづつし始めたいと思います。

毎年のことではありますが、毎日の食事や食品の保管など、これまで以上に気をつけて過ごしたいと思います。

あわせて、手洗いなどを通じて清潔に保つことも大切ですね(^o^)



(^o^) どうぞお気軽にお出で下さい



開設：毎週 火曜日・金曜日(祝祭日は休館)
時間：午前9時から午後3時

『風の家』では、「ボランティア」としてご一緒にいただける方を、お待ちしております。

『風の家』での約束事は「やさしく」そして「仲良く」です。

目には決して見えないものですが、きっと人と人との良い出会いは、「暮らし」の中でとても大切なものだから…

ぜひ、お気軽にお声かけください。



“みやげじま『風の家』だより “に関するご意見・お問合せは、上記までご連絡ください